

報道関係者 各位

福島県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

福島県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

抗インフルエンザ薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

新型インフルエンザの入院患者の一名から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。

報道に際しましては、感染された方のプライバシーに十分御配慮いただくようお願いいたします。

なお、本県でこの耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは初めてになります。

1 検査結果概要

平成22年1月28日に、県衛生研究所において遺伝子解析を実施し、オセルタミビル耐性マーカーH275Y（遺伝子変異）が確認された。

検体を国立感染症研究所に送付し、同所において薬剤感受性試験を行った結果、2月5日、オセルタミビル耐性、ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性が確認された旨の通知があった。

2 感染者の概要

70歳代、男性（県北保健福祉事務所管内在住）

基礎疾患：慢性呼吸器疾患等

3 経過

平成21年 11月22日	発熱あり、医療機関を受診。迅速診断キット陰性。
11月24日	一旦解熱したが、咳、痰が出現し、呼吸状態悪化により、別の医療機関を受診。肺炎により入院。 迅速診断キットA型陽性。タミフル内服開始。
11月26日	県衛生研究所における遺伝子（PCR）検査の結果、新型インフルエンザ陽性を確認。
12月12日	症状が快復し退院。

4 家族等の状況

家族にインフルエンザ様症状を有する方があったが、いずれも軽症で、現在、回復しております。

5 その他

全国でタミフル耐性が確認されたのは、2月4日までに46例です。